16 平和と公正をすべての人に

SDGsプログラム実施レポート
No.16　「平和と公正をすべての人に」

友達がけんかしていたら、注意したり、先生を頼ったりすることも実はSDGsにつながっているんだよ。安心安全で平和な世界にするためには、まず施設でみんなが友達に親切にしたり、協力し合ったりすることが大事なんだ。

“平和を祈願する日”プログラムを実施しました！

終戦記念日に、戦争や貧困が世界で起きていることを子どもたちに伝え、戦争を経験したことのない子どもたちと施設ではどんなことが出来るのかを考えて班ごとに発表をしてもらいました。

【ねらい・目標】
子どもたちに、今みんなが当たり前に生活をしていることが、実は当たり前ではないことを知ってもらい、世界の状況について理解を深めることを目標にしました。

【子どもたちの感想】
・「おやつの食べ残しはもったいない」、「自分たちも暴力ではなく、話し合いで解決をする」、「小さな言い合いから戦争につながる」という意見があり、こどもたちなりに今何が出来るのかを考えているようでした。

【その他にも色々な感想がでました！】
・世界で起こっていること（戦争など）を知ろうと思った。
・思いやりの心を持って、お友達に暴力をしないようにしようと思った。
・世界で起こっていることを知って、大人になったら選挙に行こうと思った。
・募金活動をする。（その国に必要なものをあげる。）

職員の感想
プログラムのねらいは、今の生活が当たり前ではないことを伝え、世界の状況についての理解を深めることでした。子どもたち一人ひとりが考え、1年生が意見を出したり、その意見を上級生たちが取りまとめたりと、みんな意欲的に参加してくれている様子がみられましたが、テーマである“平和と公正”は、そう簡単なことではないことが改めてわかりました。